

多様性を考える
山梨県弁護士会からのプレゼント企画

愛と法 無料上映会

OF LOVE & LAW

2022.11.12 Sat. 14:00~17:00
(開場13:30)

上映会 + 戸田ひかる監督の特別講演 (特別講演は15:50から予定)

@ 山梨県立文学館 講堂

(山梨県甲府市貢川1-5-35)

先着
250名

あれ、
ありません!
罪じゃ

目立ちたがりのカズとしっかり者のフミ。
家族になった二人の弁護士と
“自分らしさ”のためにたたかう人々。

監督: 戸田ひかる
プロデューサー: 南ヤエカズマ
音楽: 前田雄一朗 共同プロデューサー: エルハム・シャケリファー
製作: Little Stranger Films / Hakawati
配給: 東風 2017年 | 日・英・仏 | 94分 | DCP | ドキュメンタリー | 原題: Of Love & Law
南ヤエカズマ 南和行 吉田昌史
ろくでなし子 辻谷博子 井戸まさえ 山本なつお
撮影監督: ジェイソン・ブルックス 編集+アソシエイト・プロデューサー: 秦岳志
製作協力: Chicken & Egg Pictures / Les films du Balibari / Postcode Films
www.aitohou-movie.com

文部科学省特別選定

不完全で、足りなくて、いびつで、唯一無二人は誰もそんな形で生まれてくる。もがいて生きる人間が居心地の良い場所を見つけるには、「愛」と「法」が必要だ。カズとフミは、その二つに真摯に向き合っている。とても素敵だ。

赤江珠緒 (フリーアナウンサー)

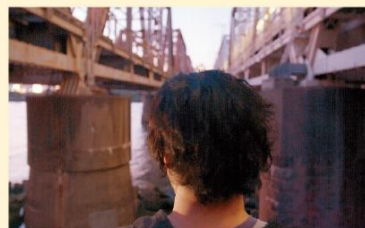
なんと素敵でおっきなドキュメンタリーだろう！
ゲイの弁護士カップルの微笑ましい日常…だけでなく、
彼らが扱う案件から日本の不穏な現状がよく見える。
リアル「きのう何食べた？」であり、『チョコレートドーナツ』だ！

中村千晶 (ライター)

法律の論理は心で感じ、家族の愛は頭で考えさせる、とても不思議な映画でした。
駆け抜ける夫の汗と笑いが刻まれたのは、僕の心でした。
皆さんに是非見ていただきたい。
ロバート キャンベル (日本文学研究者)

溢れるやさしさとユーモア 明日を生きるヒントと勇気

カズとフミは大阪の下町で法律事務所を営む弁護士夫婦^{ふうふ}。仕事も生活も二人三脚のふたりのもとには、全国から“困っている人たち”が相談にやってくる。セクシュアル・マイノリティ、養護が必要な子どもたち、戸籍を持たずにいる人、「君が代不起立」で処分された学校の先生、作品が罪に問われたアーティスト…。それぞれの生き方と社会のしくみとの間で葛藤を抱える人たちだ。ふたり自身も法律上は他人同士のまま。そんなある日、ふたりの家に居候がやってくる。突然居場所を失った少年・カズマくん。三人の新しい生活がはじまった…。



戸田ひかる 監督の特別講演

戸田ひかる監督は、10歳からオランダで育ち、ユトレヒト大学で社会心理学、ロンドン大学大学院で映像人類学・パフォーマンスアートを学ぶ。10年間ディレクターと編集者としてロンドンを拠点に世界各国で映像を制作。作品はNHK、BBC、ABC、The Guardianなどで放送されたほか、メルボルン国際映画祭など多数の国際映画祭で上映。本作の撮影で22年ぶりに日本で暮らす。現在は大阪在住。

そんな戸田監督が手がけた「愛と法」は、東京国際映画祭・日本映画スプラッシュ部門に、唯一のドキュメンタリーとして選ばれ、作品賞を受賞。「大胆かつ軽いタッチで、多様性、個性、勇気、愛について、力強いメッセージを届けた」と評されました。他にも数々の賞を受賞。海外で育った戸田監督ならではの瑞々しいまなざしで、日本社会の現実を鮮やかに、愛情いっぱいに描き出した作品です。当日は映画の作成秘話や映画への思いをたっぷりと語っていただきます。

第30回
東京国際映画祭
日本映画
スプラッシュ部門
作品賞

第42回
香港国際映画祭
最優秀
ドキュメンタリー
賞

第42回
サンフランシスコ
Frameline映画祭
正式招待

第32回
BFI Flare
ロンドン
LGBTQ+映画祭
正式招待

第18回
ニッポン・コネクション
ニッポン・ヴィジョンズ
審査員特別賞

問い合わせ先 山梨県弁護士会 055-235-7202

(当日は電話が繋がりません。ご了承ください。)